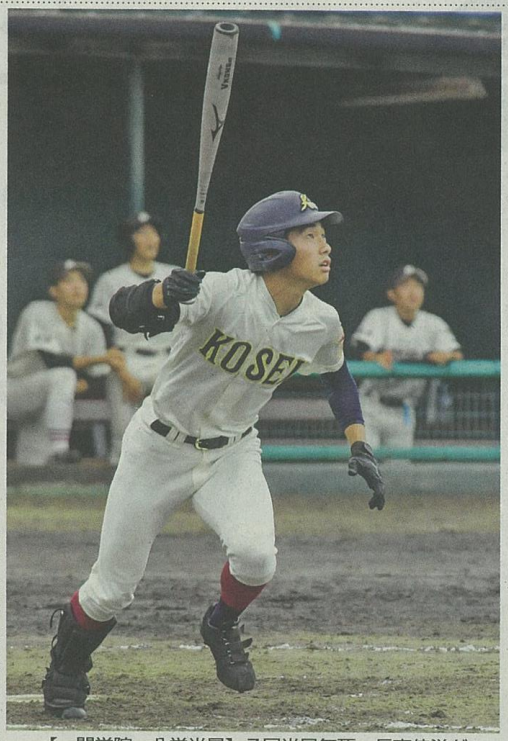

２０１７年（平成２９年）１０月１４日　土曜日

デーリー東北　１３面　掲載

光星コールド発進

第70回　高校野球

秋季東北大会

第1日

第70回秋季東北地区高校野球大会は13日、福島県の県営あづま球場、ヨーク開成山スタジアムで開幕し、１回戦２試合と２回戦２試合の計４試合を実施した。青森県勢は第３代表の八学光星が一関学院（岩手第３）にコールド勝ちし、２回戦に駒を進めた。第１代表の青森山田は２回戦で利府（宮城第２）に６―７で惜敗した。

第２日の14日は両球場で２回戦６試合を行う。光星は能代松陽（秋田第１）、弘前東（青森第２）は由利工（秋田第３）と対戦する。

（中山瑞希）

1回戦

一関学院	０	０	０	０	０	０	２	０	２
八学光星	０	１	０	０	０	２	３	3x	９

（8回コールド）

（一）新沼、佐々木、岩渕、滝田－吉田

（八）成田、福山－瀬川

▽本塁打　長南（八）

▽二塁打　幸田（一）但井、近藤（八）

【評】光星は二回2死三塁から秋山の中前打で先制すると、六回にも秋山の適時打などで2点を加えた。七回に2点を奪われたが、その裏に長南の右越えソロ本塁打と押し出し死球、近藤の適時打で加点し、再び突き放した。16安打と打線が活発だった。

▽1回戦

学法石川（福島）	２	０	０	０	０	０	０	０	２
日大山形	１	１	０	２	３	０	０	０	X	７

（学）永成、大原、関口－小島

（日）田中、佐藤洸－渡部

【一関学院―八学光星】７回光星無死、長南佳洋がソロ本塁打を放ち、４―２とする＝県営あづま

ハイライト

鍛え直し打線活発

県大会での敗北を機に、心技体を鍛え直して臨んだ初戦。仲井宗基監督の「うまくいかないこと、ミスすることがあっても一喜一憂せずに」の言葉の通り、光星ナインはしっかりと実力を発揮し、東北の頂点に向けて好スタートを切った。

持ち味の打線が活発だった。先制点を挙げたのは9番秋山龍正。二回2死三塁、「大事な先制点のチャンスだ。自分で走者をかえす」と意気込み、高めに入った変化球を見事に捉え、貴重な1点をもたらした。六回には、惜しくも本塁打にならなかったが、フェンス直撃の豪快な打球を右中間に放ち、2点目を追加した。

下位打線に負けられないとばかりに、七回には4番長南佳洋が奮起。2点を奪われた直後、右越えにソロ本塁打を放ち4点目。ここから光星は四球に安打を絡めてさらに2点を追加し、相手に渡しかけた流れを引き戻した。

秋山は「球がよく見えて、反応ができた。うれしい」と笑顔。「打撃に自信はないけれど」とはにかみながらも、「上位打線につなげることができて良かった」と手応えを感じたようだ。

福島県出身で地元の観客に成長した姿を見せた長南は「県大会では当たりも少なく、そろそろ打たなければというプレッシャーがあった」と笑顔で会心の一発を振り返った。

（中山瑞希）

【一関学院】			打	安	点	振	球
②		吉田	3	1	0	0	1
④		澤田	4	1	0	1	0
⑥		東塚	4	0	0	3	0
⑦		佐藤遼	2	0	0	2	0
H	7	木村	2	0	0	1	0
⑨	1	滝田	3	2	0	0	1
③		及川	4	0	0	0	0
⑤		高橋	3	1	0	1	0
①		新沼	0	0	0	0	0
H		遠藤	1	0	0	0	0
1		佐々木	1	0	0	1	0
1		岩渕	0	0	0	0	0
9		佐藤愛	0	0	0	0	0
⑧		幸田	3	2	2	0	0

犠	盗	失	併	残	打	安	点	振	球
1	0	2	0	7	30	7	2	9	2

【八学光星】			打	安	点	振	球
④	3	近藤	6	4	3	0	0
⑤		作山	4	0	1	0	1
⑧		矢野	5	1	0	0	0
⑦		長南	4	2	1	0	1
③		但井	3	2	0	0	0
R	6	武岡	1	1	0	0	0
⑨		東	2	2	0	0	1
1		福山	1	0	0	1	0
②		瀬川	3	1	0	1	1
①	9	成田	2	1	0	0	0
H		尾崎	0	0	0	0	1
9		北林	0	0	0	0	1
⑥	4	秋山	2	2	4	0	2

犠	盗	失	併	残	打	安	点	振	球
5	0	0	0	14	33	16	9	2	8

投手	回	打	安	振	球	失
新沼	2 0/3	11	3	0	1	1
佐々木	3 ⅓	16	6	0	2	2
岩渕	⅔	5	3	0	0	2
滝田	1 ⅔	14	4	2	5	4
成田	6 ⅔	27	7	7	0	2
福山	1 ⅓	6	0	2	2	0

デーリー東北新聞社提供